

第5回地区説明会 質問・意見の概要

適正規模・統合について

中学校区	質問・意見	市の見解
周西南中	小規模校にも良いところがあるが、社会に出ることを考えると、適正規模の環境で育てほしい。	小規模校には小規模校の良さがあることは認識しております。 しかしながら、社会に出て必要となる資質や能力、社会性などを身につけさせるという学校の役割から、一定規模の集団を確保し、その中で学び合い、協力し合い、切磋琢磨できる環境は必要であると考えます。 それは、子どもだけでなく、子どもたちを教える先生方にとっても、同様であると考えます。 経験を多く積んだ職員、若い職員などが互いに指導方法を学び合ったり、組織的に指導にあたることができたり、子どもたちへのより良い教育効果が期待でき、学校運営においても必要であると考えております。
周西南中	自分自身が人数の多い学校で育ったので、単学級には通わせたくない。	
八重原中	子どもたちの人間関係の構築や多様な考えを育てるためには2クラス以上は必要だと思ふ。	
八重原中	学年2クラスは理想だが、2クラスない学校も引けをとらず、魅力ある教育を行っている。小学校では、人数による切磋琢磨より、現状くらいの少人数の方が伸び伸びできる児童もいると思ふ。	
周西南中	複数の小学校から一つの中学校に進学する形態が望ましいと思ふが、中学校の再編についてはどう考えているのか。	第2次実施プログラム（案）では、児童生徒数の適正規模を満たすことを想定しております。中学校は全て適正規模を満たしているため対象外となっております。しかしながら、複数の小学校から一つの中学校というのが理想であると思ひますので今後の検討事項としたいと思ひます。
八重原中	小学校が統合して中学校卒業まで2学級、同じメンバーで過ごすよりも、小学校1学級のままで、中学校で他校の児童と一緒に過ごす方がいいかもしれない。	
周西中	人数が減っていく中、クラス替えができないことで子どもの人間関係に問題があると聞いている。2学級以上のクラス編制にすることで、ある程度逃げ場を作ってあげることも必要であると思ふ。	単学級では固定化された人間関係、または人間関係上の問題を引きずったまま、学校生活を送らざるを得ない状況が生じやすくなります。そのため、クラス替えができる教育環境を整えることが望ましいと思ひております。 また、児童生徒にとってだけではなく、学級数によって教職員が配置されることから、教育活動を行う学校運営の面にもメリットが大きいと思ひております。
周西中	クラス数が少ない（先生の数が少ない）のは、学校行事に対応する先生の負担が大きい。問題対応で先生が病気になった例もある。クラス替えができないのは、子どもや教育に良くない。	
君津中	適正規模の学校づくりに賛成です。子ども同士の間関係を調整したり、いじめ問題を解消したりするのに、有効だと思ふ。	
周西中	周西小では入学式に保護者が体育館に入りきらないと聞いたので、そういった観点からも再編が必要であると思ふ。	現在進めている学校再編は決してマンモス（過大規模）校を作るものではありません。クラス替えができる適正規模を目標に実施していきたいと思ひております。
君津中	統合、学区の見直しとなると、小学校の友達と離れてしまうことになるので、できたら統合のかたちの方がよいと思ふ。一方で、人数の多い学校と統合となると、少人数校の友人関係が心配である。	第1次実施プログラムでは、統合後の円滑な接続をねらいとして、事前交流を統合対象校間で活発に行っており、統合後の友人関係など不安の解消を図ってまいります。

君津中	北子安の学区を分けるのはやめてほしい。北子安1～4丁目が南子安小、5～6丁目が八重原小になると困る。その場合、中学校区はどうなるのか。	学区を見直した場合は、中学校区も別になります。現学区を分けることについては、地域の方々の意見など、様々なご意見をもとに総合的に判断し、最終的には子どもたちにとってより良い教育環境となるように進めていきたいと考えております。
君津中	北子安を分けることは反対である。統合する場合は地域の自治会活動に影響するため、分けずに統合することを希望したい。	
周南中	第1次実施プログラムが進む中、学校が中学校でも統合されていくことで、市内の音楽会など参加する学校数が減少していくと思うと少し寂しさを感じることもある。しかしながら、全校規模で参加しても人数が少ない現状があるため、全体の人数が増えることで、より幅の広がる表現で歌うことができるのではないかと感じる。 また、どうしても学校規模が小さいと、部活動の種類にも限りが出てしまうことがあるので、特に文科系（音楽系）の部活動がなかなか存在していないのが現状である。実際に、生徒や保護者からも「音楽系の部活動があればいいの」という意見をいただくことがたくさんあった。 そういった意味でも、学校規模の適正化が図られるのなら、子どもたちにも運動面だけでなく、興味関心に基づいた様々な活動を経験させることができるのではないかと思う。	子どもたちが社会に出ていくうえで必要となる資質や能力、社会性などを身につけさせるという学校の役割、そして、一定規模の集団を確保し、その中で学び合い、協力し合い、切磋琢磨できる環境は必要であるという考えから、学校の適正規模を満たせるよう取り組みを進めています。それにより、部活動の数を少しでも増やせれば、子どもたちの選択肢も広がるのではないかと考えます。 また、特に適正規模を満たしていない中学校では、市内音楽会や陸上大会など全校生徒で参加をしないと、成り立たない現状がありますので、そうした現状を解消するためにも、学校の適正規模を図ることは必要であると考えております。

再編の進め方

中学校区	質問・意見	市の見解
周西南中	第2次実施プログラムで実施ということだが、第3次までかかる見込みなのか。	学校再編基本計画の期間範囲内で適正規模を目指すものです。第2次で全て行うとなると、大変なところがあるため、第3次以降のプログラムも考えています。
周西中	大和田自治会が学区で分かれている。地区の伝統文化があり、昔からの方が中心で祭りをやっている。他地区は入りづらく、消防の分団も先輩後輩の繋がりがあがる。自治会、社会福祉協議会と連携して進めてほしい。	自治会が2つの学区にまたがっていることで、様々な負担等があることも伺っております。地域の意見を十分尊重しながら進めていきたいと考えております。
周西中	適正規模を見越しての再編は良いことだと思うので、進めてもらいたい。 一方、木更津市では人口が増えている。これからの市の計画を未来へ向けたものとして検討しなければならないと思う。	今後のまちづくりも検討した中で再編を進めていきたいと思いますが、社会情勢の変化から、大規模の宅地造成等の見通しが立てにくくなっているのが現状です。そのため、今ある学校の適正規模を優先させて見直していきたいと考えております。

周西中	非常に丁寧な手順、説明を重ねながら、またいろいろな観点から検討を重ね、再編計画を進めているのがよくわかった。物事には光と陰があるが、方針と理念のもと、しっかりと進めてほしい。	
周西中	小学校に1年生の子どもがいるので、統合となると、子どもの負担、保護者の負担、先生の負担など、いろいろ出てくると思うので、すぐ賛成と言えない気持ちがありますが、「多様性に触れる」ということを考えるとやはり必要なかなと複雑な思いでいる。いろいろな意見を考慮して、じっくり慎重に進めてほしい。	これまでも有識者、保護者アンケート、説明会、パブリックコメントなど様々な手法を使って意見を聴取してきました。学校再編は児童生徒、保護者、地域関係者、学校関係者に関わることであり、これからも様々な方法を使って保護者や地域関係者の意見を聴取する必要があると認識しています。今後も丁寧な説明、手続き等を心がけてまいります。
君津中	説明会に参加者が少ないことに大変驚いた。市民の問題意識の低さの証左なのか。今回の計画は妥当であり、説明も非常にわかりやすかった。部分的には、関係者による認識、問題点の相違はあるだろうが、予定どおり推進してほしい。	
八重原中	学校によっては、それぞれの事情によって決めるべきで子ども第一で考えてほしい。適正規模・適正配置とは何かを突き詰めて考えてほしい。	多角的かつ総合的な観点から、すべては子どもたちのための適正規模・適正配置であるということ念頭に取り組みを進めております。
八重原中	保護者アンケートを続けて、様々な角度で情報を得てほしい。	今後必要に応じて、随時実施していきたいと考えております。
八重原中	特色ある学校づくりはありがたく、適正規模のみを目指した再編ではないことも理解できた。しかしながら、防犯面を考えると、難しい点もあると考えられる。また、今後、コミュニティスクールも小中一貫教育も、再編ただけで終わりという訳にはいかないと思う。今後10年後、20年後を踏まえ、どう学校教育を活性化していくか、子どもたちのために、どう学校教育を考えていくか、教育委員会のみではなく、全市（まちづくり）の問題として進めてほしい。	現在の特色ある学校づくりの取り組みは、まずは指定校で検証したうえで、市内全域に広めることも考えております。将来的なまちづくりは、市全体の課題と認識しているので、地域とともに考え、進めていきたいと思っております。
八重原中	実施時期について、プログラムは2022年頃を目安となっているが、将来的・全体的に考えると、学校改革について、それまでの4年間をどう考えているか。	これまでもスピード感を持って進めてきたところですが、子どもの減少が著しい中山間地域を最優先で取り組んでまいりました。その次が君津地区ということになりますが、君津地区は単純に学校を統合するというわけにはいかず、複雑な課題があります。都市施策と一体になって、スピード感をもって進めていきたいと考えております。

学区（通学区域）について

中学校区	質問・意見	市の見解
周西南中	学区のねじれ問題も解消する必要がある。いろいろなパターンを検証して実施してほしい。	いろいろなパターンや地域の実態を踏まえながら、よりよい方法を検討してまいります。
周西南中	学区の弾力化、柔軟化について、小学校区での説明があったが、中学校区も変わるパターンがあるが、どのように考えているか。	
周西中	小学1年生は突拍子もない動きをすることがある。遠くの保護者は子どもを送っていくことが多い。外箕輪小の保護者も大きな道路を通るときは心配だと聞いている。低学年の子どもにスクールバスを出すなどの配慮をしてほしい。	子どもたちの安全への配慮に対して、並々ならぬ地域の努力には大変感謝しております。適正規模を求め数字だけでなく、その地域にあったパターンを検討してまいります。また、子どもたちの生命に関わる通学の安全確保は、学区の見直しの有無に関わらず、重要であると認識しております。通学の安全配慮については、安全教育、不審者対応、自然災害など学校・保護者・地域とも連携・協力も得ながら進めてまいります。特に、通学路においては、警察をはじめ、県や市長部局から構成される通学路安全対策協議会というものを立ち上げ、毎年様々な要望を通じて、合同点検を実施し、改善や対策を講じているところです。数百カ所ある危険箇所の中、少しずつではありますが、協力を得ながら年々改善が進んでおります。すべての要望に対して改善を図るには、時間を要しますが、改めて改善に向けた努力をしております。
周西中	通学路の安全配慮について、学校と連携を取りながら進めているということだが、要望を出してもなかなか対応してもらえない。昨年度、要望したものをすぐにとというのは難しいと思うが、それ以前のものはどうなっているのか。	
周西南中	スクールゾーン等もあるようだが、実際はそれを守らず、車を飛ばし走るところも見かける。事件や事故、命を落としてからでは遅いため、たくさんの意見を参考に、大人が子どもを守っていける環境づくりをお願いしたい。協力できることは協力していきたい。	
周西南中	安全面が一番心配である。自分自身、小学校までとても遠かったため、スクールバスか親で送迎するところだったので、とても安心して通えた。君津市の通学路について、各学校の保護者の方や子どもたちの意見を一番に、危険な場所は徹底的に調べ、改善してほしい。	
八重原中	何にも増して大切なのは、児童の安全である。安全に引き換えるものに何があるか。国道の交通量、特に通勤通学時間、そして、小学1年生の身長とそれに対する重い荷物を想像すると心配でならない。	
八重原中	学校が建っているところは、土地区画組合ができ、土地を持っている人が譲った。外箕輪小ができる前、八重原小に通っていた時、国道を渡り、2名の子どもが亡くなっている。地区の住民の願いで建てられたもので、市にもお願いをしている。一地区に一学校を地区の人が求めた。国道を渡らせて八重原小に通わせることは断固反対である。他については、時代の流れで仕方ないと感じる。	
八重原中	学区の安全を考えると、外箕輪から八重原へ通学するのは難しい。国道を越えるという点の安全面について、具体的な説明がほしいし、国道の横断はどの学区でも避ける方向で編成してほしい。	

周西中	子どもがねじれ学区にいて、自宅近くの小学校へ行った場合、どこの中学校になるのか。学区の弾力化で指定校変更した場合、中学校はどちらの方に上がるのか。	<p>指定校変更にはいくつか条件はありますが、交通安全上のことや友人関係など、保護者とよく相談のうえ決めていくものです。</p> <p>指定校変更後、上がる中学校についても、家庭の意向も踏まえつつ、市教委と相談しながら柔軟に決めていくこととなります。</p> <p>学区の見直しについては、兄弟姉妹や友人関係、小学校から中学校への進学の面についても、配慮が必要だと認識しております。経過措置など、弾力的な運用を行うことも含め検討を行います。</p> <p>しかしながら、学区の自由化を図るもでは決してありません。</p>
周南中	学区の見直しに強制力を持った場合、児童生徒の友人関係を考慮すると、友達と離れてしまうなど、悲しい思いをする子どもも出てくるのではないかな。	
周南中	学区の見直しは今も柔軟に対応していただき助かっている。	
周西中	ねじれ学区に住んでいる家庭には4年後ではなく、随時柔軟な対応はとれないのか。	
周西中	統合・学区の見直しに際し、対応年度までの間の対象地区に対して、なるべく早い段階で、柔軟な対応をお願いしたい。それぞれの地区ごとに違ったニーズもあり、対応すべき内容が多種ある中での再編、児童を持つ親として、できる限りの協力ができればと思う。	
周西中	自由化ではないと言っていたが、現在も人間関係で他学区に行っている子がいる。	
周南中	郡地区は貞元小学校区と思われるが、周南小学校に通学している子どももいる。どちらでもよいのか。	
八重原中	通う学校を選択できるようにしてもらいたい。	
周西中	郡地区の柔軟化を逆手にとって、自由に選ばれても困る。なるべく決められた学校でできるようにしてほしい。	
八重原中	学区の弾力化というのは難しい。子どもは地域で育つため、周りに左右される。学区は学校からの距離などから貞元や周南の学区もすべて含め、検討してほしい。	
周西中	学区のねじれについて、坂田小学区内にある一部のマンションの住人は、周西小の方が近く、安全に登校できるようである。申請をすれば学校を変更できるのか。	
周西中	学区のねじれについては、これまでも疑問に思っていた。大和田小に勤務していた際、正門の前で挨拶をしていると、校門を通り過ぎて坂田小に向かう子どもがいて、最初は不思議に思っていた。妻も中富の出身だが、当時は遠い貞元小に通っていた。学校に通学する際は近いほうが安全である。	

周西中	看板やグリーンベルトが無い場所がある。小学生の通学路の通行規制時間が実状にあっていない。小学生の中には荷物が重くて泣きながら歩く子もいる。置き勉強等、配慮をしてもらえないか。	看板の設置やグリーンベルト、時間規制については警察と連携しながら進めていきます。荷物については、学校とも確認し、置き勉強を可として、必要なものを持ち帰らせるようにしているところです。教科書自体が重くなっている現状もあり、教育委員会としても、文科省などに打診していきたいと考えております。
君津中	郡地区は希望を出せば、周南小学校へ入学することができるということだが、近くに住んでいる子どもたちは、結局貞元小に通っているのが貞元小へ通うことになると思う。常代地区は周南小で、郡地区はなぜ貞元小なのかかわからない。	時代とともに宅地開発が進む中、学区の見直しが見直されず、現在に至っている状況があり、そういった学区のねじれを解消するために、いま見直しが必要であると考えております。
周西中	小学生の場合、通学距離が4 kmまではバスを出せない基準が定められているとあったが、低学年の子どもたちに、1時間以上通学で歩かせるのはいかがなものか。明治大正時代ならともかく、車社会では無理なことであると思う。	文部科学省の基準をもとに、通学距離の基準を定めているものであり、統合や学区の見直しなどにより、基準を超える場合には、スクールバスなどの通学手段を検討してまいります。
八重原中	これだけ立派な外箕輪小の校舎を生かすためにも、南子安小の一部や周南小の一部を取り込んでいくことも検討していいのではないかなと思う。	貴重なご意見として参考にさせていただきます。
君津中	北子安地区は、スポーツが盛んで、子どもの送り迎えなど見守り体制も充実しており、安心して子どもを通学させている。統合によって、別の学区へ子どもを通わせることとなった場合は、国道などの幹線道路を歩かせることになり、不安である。市として安全面をどのように考えているのか。	子どもたちの生命に関わる通学の安全確保は、学区の見直しの有無に関わらず重要だと認識しております。学区の見直しをする際には、道路状況、交通量、横断歩道や信号などの設備の状況について調査し、検討を行います。また、安全確保のための手立てについて検討し、関係部署、関係諸機関にも働きかけてまいります。
君津中	当地区は、地区運動会を開催するくらい、地域性が豊かである。学区を超えて、他の学区へ通学させることに寂しさを覚える。市として、こうした当地区の特徴をどのように考えているのか。	学校は、地域の核となるものと考えております。これまでの地域性を無視せず、いろいろな方の意見を伺いながら進めていきたいと思っております。
君津中	以前、踏切ではなく線路を横切って、学校へ通う子どもを見たという話を聞いたことがある。非常に危険であり、現状の学区にもいろいろと考える必要があると思う。学区については、単純に考えるのではなく、現状を把握した中で、柔軟に考えてもらいたい。	安全面については、各学校と連携して取り組んでいるところです。教育委員会として、学区については、いろいろな意見を踏まえ考えていきたいと思っております。

第1次実施プログラム・第2次実施プログラム

中学校区	質問・意見	市の見解
周南中	小櫃小学校は、第1次実施プログラムにおいて、統合対象ではないが、現在も今後も適正規模ではない。小櫃小学校は忘れられているのか。	第1次実施プログラムにおいては、地域の実情への配慮として、小学校は適正規模には満たないものの、旧町村（ここでは旧小櫃村）に小学校を1校残すとしております。今後については、児童生徒数の推計を注視しながら、総合的に判断していきたいと考えます。
周西中	実施時期はできるだけ早くしてほしい。	来春頃を予定しているが、今後は具体的な再編案を示した説明会を対象地区に行っていく予定で考えております。基本計画は、10カ年の計画の中でやっていこうということで示していますが、統合の時期が遅いという意見もありましたが、基本計画の中で進めているところです。しかしながら、できるだけ早い段階で、意見を取りまとめてみなさんに示していきたいと思えます。
八重原中	次回の説明時期についてはどう考えているか。また、今後、説明会はどのように進めていくのか。	
八重原中	第2次実施プログラムには、いろいろ課題があると思うが、子どもたちのことを最優先に考えた案にしてほしい。	今回の説明会で示した構想案についていただいたご意見等を参考に、第2次実施プログラム（案）を提示します。児童生徒や保護者の不安を招かないよう、できるだけ早めに提示するよう、努めてまいります。
八重原中	第2次実施プログラムが決定に至る前にいくつかの案から選択できるようにしてほしい。	

特色ある学校づくり

中学校区	質問・意見	市の見解
八重原中	外箕輪小学校の特認校化の案があったが、具体的にどのようなことか。	現在、千葉県立千葉盲学校によるサテライト教室（地域の小学校・中学校に在籍している弱視児童・生徒に対して、障害に応じた特別の指導を、対象児童・生徒の教育課程に位置づけて行う）を平成26年度から行っているため、それを特色として生かしていくことも視野に入れていきたいと考えます。
八重原中	特認校というのは不安定で不安がある。	特認校はあくまで案ではありますが、どのような特色を持たせていくことが、魅力ある学校づくりにつながるか、地域の実態を踏まえつつ、検討していきたいと考えます。
八重原中	外箕輪小が誰でも通学できるスタイルになるのは賛成である。	
八重原中	外箕輪小学校を特認校とする場合、市内全域から希望者が出るだろう学校として、小学校において時間数の増える英語教育に特徴を打ち出してはどうか。	

周西中	小中一貫教育やコミュニティスクール等、特色ある学校づくりの話があったが、大和田小・坂田小も君津高校などと「山の上4校」として、体育などで連携して取り組んでいる。 周南小中の小中一貫教育の具体的な内容を聞きたい。	周南小中の一貫教育は本年4月から始まっておりますが、15歳の姿を目指し、「学び」と「育ち」の連続性や系統性のある教育（9年間を見据えたキャリア教育）を推進しています。例えば、中学校の英語教員を小学校に派遣し授業を行い、一方、小学校の算数の教員を中学校に派遣し、ティームティーチングを行うなど、小中学校教員の相互乗り入れ授業を実施、また、異学年交流として、小中全校で鹿野山への合同徒歩遠足を実施しております。
周南中	地域の方には11月29日に行われる周南小中一貫教育フォーラムに是非参加してもらいたい。まだ、小中一貫教育について、よく分かっていない方もいるかと思う。また、学校としても取り組みの状況や子どもたちの変化など発信していく必要があると思っている。	
周西中	特色ある学校づくりの具体的な話が聞きたい。	例えば、国際教育として、市内にある4つの高校と一緒に英語教育を実践しています。また、キャリア教育として、新日鐵住金株式会社からゲストティーチャーを招くなど出前授業等を行い、インターンシップの受入れも行っています。他にもありますが、詳細は学校再編基本計画や第1次実施プログラムの資料にも掲載しております（HPにも掲載）。
周南中	小中一貫教育が1年程度経過した際に、子どもたちや保護者が小中一貫についてどう感じるかアンケートなどで評価してほしい。生徒、保護者によって、感じ方が違うこともあると思う。	意識調査は今も行っており、保護者についてもアンケートをとっているところです。地域がどのように感じるかが大切であり、ご意見をもとに課題を修正しながら進めていきたいと思ます。

施設について

中学校区	質問・意見	市の見解
周西南中	統合に反対の意見として、使わなくなった施設に困ったものが入られては嫌だという話を聞く。施設の跡利用は考えているのか。	施設の利活用は、今までは子どもたちに動揺を与えないように統合後に検討していたところですが、第1次実施プログラムを進める際にも、地域住民から施設の跡利用について心配の声を多数聞いているところです。市全体での検討事項とし、学校再編と並行して考えていきたいと思ます。
周西南中	大和田小と坂田小の統合後に使わなくなった校舎に特別支援学校が入ると聞いたが決定なのか。	北子安にある県の特別支援学校の児童生徒数が多く、空き教室を使いたい旨の話があったのは事実ですが、施設の跡利用は未定であり、今後地域住民と協議のうえ、検討していきたいと思ます。
八重原中	外箕輪小は、ホールやグラウンドがとても素晴らしい施設である。今後の施設の名前も含め、子どもたちにとって良い施設であるよう考えていってほしい。	再編の理念は、すべて子どもたちのためにあります。そこを外さずに進めていくことは当然のことかと思ますので、施設のことも子どもたちのために考えていきたいと思ます。
八重原中	外箕輪小の児童は、放課後学校にたくさん遊びに来ます。外箕輪小の施設の良さを生かし、検討していってほしい。	

周西中	教育環境の改善につなげるためにも、ハード面、ソフト面ともに十分な予算を確保することも強く要望したい。未来に向けた学校づくりのチャンスとして生かしてほしい。	統合は、施設改修などのハード面も含んでおりますが、今ある施設を有効活用しながら改修していきたいと考えます。また、文部科学省の基準として、施設を適切に管理した場合には、70～80年間の利用が可能としており、市としても、必要な改修を行いながら、長く利用していきたいと考えております。
君津中	統合自体は賛成だが、統合後の建替え等ハード面の整備をどうするのか知りたい。	
八重原中	八重原小と外箕輪小を統合する場合でも、外箕輪小の校舎を使用することも考えてもいいのではないか。	
八重原中	統合する場合、同じ市街化区域で同様に都市計画税を払っているながら、八重原地区の学校、公民館が同地区になり、教育・文化施設からいずれも遠い児童生徒がいたり、いずれも近い児童生徒がいたりすることがないように、中学校は八重原中、小学校は外箕輪小を使用するのがよい。実際、八重原中学校への通学路も外箕輪から地図ではわからない道で迂回して登校している状況がある。	

その他

中学校区	質問・意見	市の見解
周西南中	北子安小学校の低学年が減っている理由は何か。	掴み切れていないところもありますが、宅地開発の予定等も含めて、市長部局と連携を図りながら、情報収集に努め、反映させていきたいと考えております。
周西南中	宅地開発の予定等、どのくらい見通しているのか。	
周西南中	教師の負担軽減も進めてほしい。	教員の負担軽減は教育委員会でも考えているところですが、人的補助として指導補助教員や生活体験指導員等を配置しております。一学年のクラス数が増えると教員一人で行っていた学年の事業が複数で行えるため、再編が進みクラス数が増えることは教員の負担軽減につながっていくと思われま。
周西中	おおむねの内容には賛成である。要望したいのは再編により、教員の負担増にならないことである。	
周西南中	説明をスクリーンで行うのもよいが、メモ等も行いたいので紙媒体でもっとほしい。	次回以降、紙媒体で説明資料についても配付できるように検討します。また、HPへの掲載も検討してまいります。
周西中	資料はHPに掲載してもらいたい。	
周西中	保護者からは通学路の安全等の要望があるが、自治会には協力しない者が多い。通学路の見守りは自治会と学校職員で行っているのが現状である。保護者へ自治会等に協力を促すような働きかけはできないか。	地域とより連携を図れる特色教育として、コミュニティスクールを周西小・周西南中で実施しております。これは、学校や保護者、地域が一体となり、協働しながら、子どもたちを教育していく仕組みです。地域と学校の新たなつながりとして、コミュニティスクールの取り組みも一つの例に検討していきたいと思ひます。
君津中	アンケートや意見等が出た登校の安全性の課題も、万全の安全対策はないと思う。このために、住民参加の子ども見守り活動の活性化をもっと呼びかけて広めてほしい。	

周西中	今後の修理費、維持費を考慮すると、学校数を減らし適正化すべきである。	
周西中	自治会がまたいでいることへの意見は全体で約1%であったかと思うが、子どもたちのために第一であり、現役子育て世代の思いを優先してほしい。	子どもたちにとってより良い教育環境の整備を目指しつつ、地域とのつながりや保護者の思いについても配慮し、総合的に判断し進めてまいります。
八重原中	北子安小の借地は解消してほしい。	
八重原中	まだ子どもは未就学ではあるが、ちょうど君津地区で学校再編を実施する頃、小学生に上がるので不安がある。	
八重原中	市街化区域では、人口、つまり児童生徒のいる世帯数も流動的で、学校がなくなることで児童生徒数が大きく減ることも予想される。この場合、木更津市に隣接している地域なので、木更津市に転居等も考えられる。既に学校が減るとの噂があり、児童数に影響しているのではないかと。	随時、説明会を開催し、児童生徒や保護者に情報を広く開示しながら進めることで、誤解や不安を招かないように進めてまいります。
八重原中	外箕輪小学校は地区コミュニティの中心となっており、区画整理で土地を抛出し、学校用地としたものである。最近少しではあっても新しい家も建っている。存続を主に考えてほしい。	建設に至る経緯の調査、また宅地開発の状況など注視しながら、地域の意見を踏まえたうえで、総合的に判断していきたいと考えております。
八重原中	今回は丁目ごとの子どもの数が知りたい。	学区の見直しにあたっては、子どもたちが地区のどこに、どのくらいいるのか等について把握し配慮したうえで進めてまいりたいと思います。
八重原中	小さい学校でも他校との接点を持つ方法はないか。	中学校区での交流や小中連携の取り組み、合同生徒会など、さまざまなかたちで他校との接点、交流、情報交換を図る機会は多くあります。
周西中	再編が進むと、空き教室を利用している学童はどうなるのか。	
八重原中	共働き世帯も増え、学童のニーズも高い。君津市は学校内に設定されているところが多く、安全面からもありがたい。南子安など入れない地域もあり、そのあたりも踏まえて考えてほしい。ただ、木更津の学童、都内の民間学童など魅力あるプログラムが組まれているものも参考に整備してほしい。	学童の運営方法は各団体によって異なるため、再編案を提示した中で、今後の対応を検討したいと考えます。学童のニーズが高いことは承知しております。学校再編にあたりましては、関係部局と連携を図りながら進めてまいります。